

## 全国国立七大学安全衛生管理協議会で講演しました(2017/8/3-4)

テーマ：安全衛生，旧七帝大，災害対策，東日本大震災  
場所：東北大学片平さくらホール

8月3日（木），東北大学片平さくらホールにおいて，全国国立七大学安全衛生管理協議会が開催されました。この協議会は旧七帝大の大学が持ち回りで開催しており，産業医，安全衛生管理を担当している教員，職員など，約80名の参加者となり，東北大学人事企画部環境安全推進課が事務局を担いました。

協議会では，安全衛生管理に関するワーキンググループごとの活動状況と課題が報告された後，佐藤健教授（情報管理・社会連携部門）による講演「東北大学の復興と災害対策」が行われました。講演では，東日本大震災による東北大学の被害概要，震災後のBCP策定をはじめとした災害対策の主な取り組みや東北大学片平キャンパス近隣のコミュニティベースによる地域防災の動向等について話題提供しました。学内の災害対策の推進に加えて，大学も地域コミュニティの一員であり，かつ大規模な事業所の一つであることから，地域コミュニティとの連携や協働が必要不可欠であることにも言及しました。

翌日の4日（金）午前中，被災地巡検のオプションバスツアーも開催され，約40名の参加者のもと，佐藤健教授がツアーの案内役を担いました。はじめに仙台市宮城野区にある中野5丁目津波避難タワーの見学を行った後，仙台市の震災遺構である旧仙台市立荒浜小学校の見学も行いました。東日本大震災による仙台市沿岸部における被災状況とその後に展開されている災害対策の取り組みについて，参加者の理解を深めることができました。

2日間（一部のワーキンググループは3日間）にわたる協議会により，大学における安全衛生管理上の同じような悩みや課題を抱えている旧七帝大の課題解決に向けて，有益な情報交流や意見交換となりました。東北大学がホストした今回の協議会では，特に災害対策の側面からの全国的なキャンパス・セーフティの推進に大きな成果が得られたものと思います。



佐藤健教授による講演



被災地巡検の様子

文責：佐藤 健（情報管理・社会連携部門）